

三菱電機では、性別、年齢、国籍、障がい、LGBTQ や働き方等も含めた多様性を互いに尊重し、個人の能力を最大限に発揮していきいきと働ける職場を目指しています。

従業員理解の醸成

LGBTQ についての理解を深めるため、全従業員を対象に e-learning を行い、多様性への理解を進めています。毎年6月を「三菱プライド月間」とし、社長メッセージを全従業員向けに配信し、いきいきと働ける職場環境を目指しています。

同性パートナーの配偶者認定

2022年3月より同性パートナーを持つ方が利用可能となるよう規則・規程を改定しました。配偶者を持つ従業員に支給される手当（扶養手当・家賃補助等）や付与される休暇（結婚・育児介護等）を、同性パートナーを持つ従業員も同様とし、通称使用も利用可能としました。

アライの輪の更なる拡大



2022年より社内有志によるアライコミュニティ活動を開始し、これまで5回の勉強会をおこない、LGBTQ についての理解を深めています。活動の中で、LGBTQ 当事者の心理的安全性の向上を目的に、三菱電機アライコミュニティのモチーフとなる公式アイコンを作成しました。MITSUBISHI ELECTRIC の頭文字である「M」と「E」を優しさと幸福感を感じさせる人の笑顔に見えるようなフォルムでシンボル化し、アライコミュニティによって、人々に笑顔が生まれ、つながっていくようにという想いを込めています。

その他の取り組み

- ・ LGBTQ に関する「社外相談窓口」の設置
- ・ アライハンドブックの作成、共有
- ・ 申し出があった場合の性別の扱いを本人の希望する性とし、施設利用等に関する個別相談内容に基づき必要な配慮をおこなう
- ・ 三菱人権啓発委員会（三菱グループ25社）におけるLGBTQ理解促進の研修会開催
- ・ 就職時におけるエントリーシートの性別欄の選択肢を多様化 他

外部評価と取組みの継続

work with Pride



社内外における取組みが評価され、2021年度PRIDE 指標のシルバー受賞に続き、2022年度ではゴールドを受賞しました。今後も働きやすい職場環境を目指し、様々な施策を展開していきます。

